

## 歴博くらしの植物苑だより

くらしの植物苑観察会 13:30 から くらしの植物苑東屋

第107回 2月23日(土) 『浜のくらしと植物』 江口誠一 (千葉県中央博物館)

第108回 3月22日(土) 『古代のウメとサクラ』 仁藤敦史 (本館研究部歴史研究系)

今週のみどころ <http://www.rekihaku.ac.jp>

見られる花：ロウバイ、ソシンロウバイ、スイセン、フクジュソウ、ナバナ

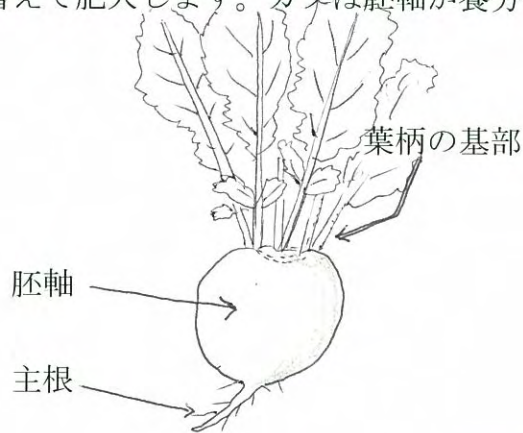
### 私たちが食べている

くらしの植物苑では、ダイコン、カブなどの根菜類が栽培されています。

ダイコンではおもに主根が栄養分を蓄えて肥大します。カブは胚軸が養分を蓄えます。



ダイコン



カブ

**「冬の華・サザンカ」展示期間は終了しましたが、  
ハルサザンカ群はまだご覧いただけます。**



肥後旭の海 (カンツバキ群)

紅色の一重咲です。平開咲きで中輪のきれいな花です



武蔵野 (カンツバキ群)

桃紅色の八重咲から獅子咲で、  
中心の小花弁が立ち上がります。



星飛竜（ハルサザンカ群）

光沢のある、濃紅色で、白斑の入るものです。

「日涉園茶梅譜」（1885年）に記録があります。



蜀紅錦（ハルサザンカ群）

濃紅色に白い星斑のはいる、

一重平開咲の小から中輪です、

「日涉園茶梅譜」に記録があります。

ヒイラギナンテン “チャリテイー” （メギ科）

ヒイラギナンテンの園芸品種で、12月頃から咲き始めます。冬枯れの時期に黄色の花を咲かせます。



メキャベツ(コモチカンラン) （アブラナ科）

ベルギー地方原産の越年草。主茎の葉には結球せず、葉のつけ根の芽が結球します。日本へは明治初期に渡来しました。



エサキモンキツノカメムシ  
エサキモンキツノカメムシです。  
エノキの葉に越冬していた背中に  
可愛い模様があります。



ゴマダラチョウの幼虫  
エノキの葉に越冬していた  
ゴマダラチョウの幼虫です。